

科目名		担当者氏名	授業形式	単位	開講時期
子どもの保健 I		高橋 良子	講義	(通年で) 4	通年 (前期)
必修・選択	卒業要件	選択			
	資格要件	保育士資格必修 保健児童ソーシャルワーカー資格必修			
学習目標	(1) 保育者として子どもの心身の発達を総合的に学ぶとともに保健活動の意義を理解する。 (2) 保育者として子どもの心身の健康及び安全管理体制を理解する。 (3) 保育者として子どもを取り巻く社会的背景を学び、時代に即した育児支援を学ぶ。 (4) 情緒・行動上の問題の理解し各児の発達課題し支援する姿勢を学ぶ。				
授 業 計 画					
回	項 目	授 業 内 容			
1	子どもの健康	・保健衛生上から見た子ども ・健康とは			
2	生命の誕生	・胎生期から出生時、乳幼児期と特徴			
3	身体発育発達と評価	・身体発育値と評価 ・頭部、胸部、歯、骨、生殖器、身体各部のつり合いなど			
4	生理機能の発達 (1)	・脳、体温、呼吸、脈拍、睡眠、排泄、消化器の発達			
5	生理機能の発達 (2)	・睡眠、排泄機能の特徴			
6	運動機能の発達と評価	・運動機能の発達、微細運動、感覚機能、評価			
7	精神機能の発達 (1)	・知能、言葉、(話す機能・分かる機能)			
8	精神機能の発達 (2)	・社会性、情緒の発達、評価			
9	乳幼児各期発達の特徴	・姿勢、運動、知覚、言語、社会 ①演習 (年表作り)			
10	乳児期における健康問題	・乳児死亡、事故、感染、発達に影響する因子 ②演習 (年表作り)			
11	子どもの生活と養護	・子どもの快適環境、生活リズムと必要性 ③演習 (年表作り)			
12	母子保健対策と保育	・母子保健法施策の実際・母子保健サービスの実際 ④演習 (安全な育児用具について)			
13	地域の母子保健対策と乳幼児保育	少子対策と地域の母子保健体制と連携の必要性 ⑤演習 (少子社会だから必要なこと)			
14	関連機関における保育の実態	⑥演習 (少子社会だから保育者が行う事)			
15	プレゼンテーション	発表 (各発達段階における姿を年表にしたもの)			
参 考 書	竹内義博・大矢紀昭編「よくわかる小児保健」ミネルヴァ書房 2009				
学習上の注意 (自己学習、学外学習など)	当日の授業内容は図書館やPC室などを活用し予習してくること。この授業は参加型である。未発達な乳幼児の指導者としての人格を形成していくこと。自分を良く知ること。これまで受け身的に授業を受けていたら変えること。				
評価の方法と時期	・筆記試験=70点 ・授業態度・提出物=30点				